

問1 岩手県の南部鉄器のように、100年以上の歴史があり、熟練した技術によって主に手作業で作られ、経済産業大臣によって指定される工芸品を何と呼びますか。その制度の名称として適切なものを選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)

1. 世界文化遺産
2. 重要無形文化財
3. 伝統的工芸品
4. 地域団体商標

問2 東北地方の農業は古くから稲作が盛んですが、現在の農業産出額の割合を示した統計では、米の割合が28.6%であるのに対し、57.7%と過半数を占めて最大となっている部門があります。この部門はどれか選びなさい。 (2019年 福岡県公立入試 類似)

1. 果実
2. 野菜
3. 工芸作物
4. 畜産

問3 日本海を南から北へ流れる暖流である「対馬海流」が、東北地方などの日本海側の気候に与える影響を説明したものとして、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2022年 香川県公立入試 類似)

1. 夏に吹く冷たく湿った北東風（やませ）の勢力を弱めることで、東北地方全体の気温を上昇させ、猛暑の原因となる。
2. 北からの栄養豊富な海水を運ぶことで、冬の時期の日本海側における季節風を弱め、積雪量を抑える役割を果たしている。
3. 冬に吹く北西の季節風がこの海流の上を通る際、水蒸気を多く取り込むことで、日本海側の地域に大雪をもたらす要因となる。
4. 周辺の海水温を下げる働きがあるため、夏でも沿岸地域の気温が上がりにくく、涼涼な気候を保つ要因となる。

問4 東北地方では、米の農業生産額が全国シェアの約25%を超えるほど稲作が発展していますが、このように「日本の食料基地」と呼ばれるまでに至った背景や工夫として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

1. 寒冷な気候による冷害を克服するために、耐寒性の高い品種への改良や、大規模な土地改良事業が進められたから。
2. 化学肥料に頼らない伝統的な農法を維持し、小規模な家族経営の農家が多品目の米を少しずつ生産する体制を守ってきたから。
3. 冬の積雪を農業用水として利用するために、山間部の傾斜地を切り拓いて数多くの棚田を造り、生産量を増やしたから。
4. 政府の減反政策に対応するため、米の生産面積を縮小し、付加価値の高い果樹栽培へ全面的に転換を図ったから。

問5 東北地方の日本海側では冬に多くの降雪が見られるのに対し、奥羽山脈などの山々に囲まれた内陸部では、沿岸部と比較して年間の降水量が少なくなる傾向があります。このように内陸部で降水量が少なくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響を最も強く受けるため
2. 内陸部は標高が高く、年間を通して上昇気流が発生しにくいから
3. 暖流である日本海流の影響が山脈によって遮られてしまうため
4. 湿った空気が山脈を越える際に雨や雪として水分を放出するため

問6 青森県と秋田県にまたがり、世界最大級の原生的なブナの天然林が分布していることから、1993年に世界自然遺産に登録された山地はどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)

1. 奥羽山脈
2. 北上高地
3. 白神山脈
4. 知床

問7 東北地方の各県における農業統計に基づき、土地利用や生産状況について説明した次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、宮城県の総面積に対する耕地面積の割合は約17.2%、青森県は約15.5%です。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 岩手県は、広大な土地を活かした畜産業が極めて盛んであり、県全体の農業産出額の7割以上を畜産が占めている。
2. 秋田県と山形県は東北を代表する米どころであり、この2県だけで東北地方全体の米の産出額の半分以上を占めている。
3. 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。
4. 青森県は東北地方で最も総面積が大きいので、山地が多いにもかかわらず耕地面積の割合も東北6県で最大である。

問8 東北地方の農業統計において、各県の土地利用の状況を比較したとき、青森県は総面積が広いものの、その総面積に対する耕地面積の割合は約15.5%にとどまります。これに対し、宮城県は約17.2%と青森県よりも高い割合を示しています。このように、宮城県において総面積に対する耕地面積の割合が比較的高くなっている地理的要因と、その農業の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 蔵王山麓の傾斜地を果樹園として大規模に開墾しており、リンゴやサクランボの産出額が県全体の農業産出額の過半数を占めるため。
2. 県の総面積が東北地方で最小であるため、実際の耕地面積が狭くても統計上の数値が自動的に高くなる傾向があるため。
3. 北上山地を中心とした大規模な畜産業が展開されており、飼料を生産するための耕地が県全域に分散しているため。
4. 県内に仙台平野という広大な平坦地を有しており、そこでの稲作を中心とした農業が古くから発展しているため。

問9 岩手県の地形や主要都市の立地について、東北地方の地図上の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)

1. 県の中央を奥羽山脈が縦断しており、県東部の海岸線は奥羽山脈が海に直接面することで、全域が険しい断崖絶壁の続く地形となっている。
2. 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。
3. 県庁所在地の仙台市を中心として、県東部の太平洋沿岸には広大な平野が続いており、単調な海岸線を利用した砂浜海岸が形成されている。
4. 県庁所在地の盛岡市は三陸海岸沿いの港町として発展しており、その周辺には複雑に入り組んだ海岸線を利用した大規模な工業港が集中している。

問10 東北地方の伝統的工芸品について、岩手県の盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などの鍛造技術の特徴とする伝統的工芸品の名称を答えなさい。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

1. 輪島塗
2. 西陣織
3. 南部鉄器
4. 会津塗

問11 東北地方の盆地において、果樹栽培が盛んに行われている地理的な理由を説明したものとして、正しい内容はどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 山に囲まれた地形により形成された、水はけの良い傾斜地が果樹の生育に適しているため
2. 火山灰が堆積してできた水持ちの悪い台地が広がっており、それを利用しているため
3. 周囲の山々が冷たい季節風を遮るため、冬でも温暖で柑橘類の栽培に適しているため
4. 内陸部で一年中降水量が多く、果樹の成長に必要な水分が常に豊富に供給されるため

問12 東北地方の電力事情について、青森県の下北半島や秋田県・山形県の日本海沿岸部などに、発電所を示す記号が帯状に多く分布している場合、これらは主にどの再生可能エネルギーを利用した発電所であると考えられるか。 (2024年 青森県公立入試 類似)

1. 風力発電
2. バイオマス発電
3. 水力発電
4. 地熱発電

問13 山形県の中央部に位置し、全国的なシェアを誇る「将棋駒」の産地として知られる都市はどこですか。この都市の将棋駒は国の伝統的工芸品にも指定されています。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 盛岡市
2. 天童市
3. 秋田市
4. 米沢市

答え合わせ・解説

問1	答え 3 伝統的工芸品	伝統的工芸品は「伝統的工芸品産業の振興に関する法律（伝産法）」に基づき、経済産業大臣が指定するものです。南部鉄器もこの指定を受けており、現在は伝統を守るだけでなく、カラフルな急須を海外へ輸出するなど、現代の生活や海外需要に合わせた製品づくりも行われています。
問2	答え 4 畜産	東北地方は全国有数の穀倉地帯ですが、米の消費量減少や減反政策、さらに食生活の変化などの背景から、農業の多角化が進んできました。特に岩手県の北上山地や青森県などで肉用牛、養豚、養鶏などが大規模に行われており、現在の産出額では米を上回る最大の部門となっています。
問3	答え 3 冬に吹く北西の季節風がこの海流の上を通る際、水蒸気を多く取り込むことで、日本海側の地域に大雪をもたらす要因となる。	暖流である対馬海流は、周囲の海水温を比較的高く保つ性質がある。冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出すが、この風が対馬海流の上を通過する際に大量の水蒸気を蓄える。その湿った空気が日本列島の山脈にぶつかると、日本海側に世界的な多雪地帯を形成する原因となっている。
問4	答え 1 寒冷な気候による冷害を克服するために、耐寒性の高い品種への改良や、大規模な土地改良事業が進められたから。	東北地方は本来、冷害（やませ等による低温被害）を受けやすい地域でしたが、寒さに強い品種の研究開発や、機械化に適した大規模な水田の整備（区画整理やかんがい施設の充実）が進んだことで、安定した高い生産力を確保できるようになりました。現在では「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」など、良質な銘柄米の産地としても知られています。
問5	答え 4 湿った空気が山脈を越える際に雨や雪として水分を放出するため	東北地方の中央部を南北に走る奥羽山脈などの高い山々は、海から吹き込む湿った空気の進行を妨げる壁の役割を果たします。湿った空気が山を越える際に、斜面上昇して雲を発達させ、雨や雪を降らせるため、山を越えた後の空気は乾燥します。このため、周囲を山に囲まれた内陸部の盆地などでは、沿岸部に比べて年間の降水量が少なくなります。
問6	答え 3 白山山地	1993年に屋久島とともに日本で初めて世界自然遺産に登録された地域である。「青森県と秋田県の県境」という位置と、「ブナの天然林」という植生が最大の判断ポイントとなる。誤答の奥羽山脈は、東北地方の中央を南北に走る日本最長の山脈であり、地理的な位置や特徴が異なるため注意が必要である。
問7	答え 3 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。	土地利用の状況を示す指標として「総面積に対する耕地面積の割合」があります。宮城県は仙台平野という米づくりに適した平野部を持つため、この割合が約17.2%となっており、面積の大きい青森県（約15.5%）よりも高い比率で土地が耕作に利用されています。岩手県の畜産や秋田・山形の米の生産割合については、統計上そこまで極端な集中（7割超や2県で過半数など）は見られません。
問8	答え 4 県内に仙台平野という広大な平坦地を有しており、そこでの稲作を中心とした農業が古くから発展しているため。	宮城県は、県内に仙台平野という広大な平野を抱えているため、山地が多い他の県と比較して、県の面積に対する耕地面積の割合が高くなる傾向にあります。この平野部を利用した米づくりが盛んであり、統計上も青森県（約15.5%）を上回る約17.2%という数値に表れています。選択肢にある岩手県の畜産や、秋田・山形の米産出額に関する誤った統計数値の解釈に惑わされず、地形と土地利用の関係を理解することが重要です。
問9	答え 2 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。	岩手県の内陸部には北上川が流れる盆地があり、そこに県庁所在地の盛岡市が位置しています。一方、東側の太平洋沿岸は三陸海岸と呼ばれ、特にその南部はリアス海岸という独特の形状をしています。奥羽山脈は岩手県と秋田県の県境付近を走る山脈であり、海岸線まで迫っているのは北上山地であるため、地形の名称を正確に理解しておく必要があります。
問10	答え 3 南部鉄器	岩手県の盛岡市や奥州市で生産されている南部鉄器は、江戸時代に茶の湯の流行とともに発展した鋳物（いもの）の技術を用いた工芸品です。経済産業大臣によって「伝統的工芸品」に指定されており、現代でも実用性の高い鉄瓶や調理器具などが作られています。会津塗は福島県、輪島塗は石川県、西陣織は京都府の伝統的工芸品です。
問11	答え 1 山に囲まれた地形により形成された、水はけの良い傾斜地が果樹の生育に適しているため	盆地の周辺部には、山から流れ出た土砂が積もってきた「扇状地」と呼ばれる水はけの良い緩やかな傾斜地が多く見られます。果樹は一般に水はけの良い土地を好むため、これらの地形が有効に活用されています。また、内陸の盆地は夏に気温が上がりやすく、日照時間も確保しやすいため、果実の甘みが増すという気候的な利点も組み合わさっています。
問12	答え 1 風力発電	東北地方の日本海側や沿岸部は、年間を通じて偏西風や季節風などの強い風が吹きやすいため、風力発電所の建設に適しています。地熱発電は奥羽山脈などの火山がある内陸部、水力発電は水流の落差が得られる山間部に多く立地するため、地図上の分布場所（沿岸部か内陸・山間部か）によって区別することができます。
問13	答え 2 天童市	山形県天童市は、将棋駒の生産量が日本一であり、全国シェアの大半を占めています。1996年には経済産業大臣によって伝統的工芸品に指定されました。選択肢の盛岡市は南部鉄器、秋田市は竿燈まつりなどが地域の特色として有名です。